

# 塗料への加工における留意事項

ゼオミックは水系・有機溶媒系・粉体の塗料への添加が可能です。

アクリル、ウレタン、エポキシ、シリコーン、フェノール、ポリエステル各種樹脂系塗料や、各種のインキ、印刷材料などにご使用頂けます。

## 分散性

ゼオミックの抗菌メカニズムはゼオミック粒子と菌の直接的な接触による抗菌作用によるものです。

したがって、**ゼオミック粒子を分散良く塗膜表面上に存在させることによって良好な抗菌性能が得られます。**

ゼオミックの平均粒径は2~3 $\mu$ mと微粒子です。ゼオミックの凝集が起り分散不良となる可能性がありますので、いかに凝集を起こさず均一に分散させるかに注意して加工する必要があります。ゼオミックを均一に分散させるために、下記のふたつの方法をご検討下さい。

### ①段階希釈

加工材料に塗付加工が可能な低粘度の液体(水、各種溶剤など)にあらかじめゼオミックを分散させておき、その分散液を所定の濃度になるように加工材料へ添加します。

### ②物理的分散

剪断力の大きいニーダー(混練機)やバンバリーミキサ、ロールミルを使用するなど、物理的な力でゼオミックを分散させることも有効です。

**\*あらかじめゼオミックを水に分散させた分散液をご用意しております。**

ゼオミックの水分散体は、ゼオミック粉末を水中に懸濁させ、沈降防止処理をしたもので、あらかじめ一次分散してありますので、塗付加工が容易です。

## 沈降

ゼオミックの比重は約2と水や各種溶剤と比べ重い物質のため、低粘度の液体中では沈降が起り、静置状態で保管の際、容器底部に堆積した状態となる可能性があります。

**沈降したままで塗装加工をすると、塗膜へのゼオミックの分散状態にムラが発生する恐れがあります。**

沈降防止のため下記のふたつの方法をご検討下さい。

### ①使用前の再攪拌

### ②増粘剤、分散剤の添加